

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	5-2-2		事業名	豊平スポーツ・健康づくり応援事業
担当	豊平区市民部地域振興課地域活動担当 森 肇 Tel 822-2400(内257)			
全 体 計 画				
事業内容	地域の大学生や地元住民と区が協働した各種スポーツイベントの開催、イベント時における健康づくり、子育て支援部門と連携したコーナー設置等により、区民のスポーツ振興と健康増進を図る。 また、区内に札幌ドームがあることから、地域住民や商店街と協働で日本ハムファイターズやコンサドーレ札幌の応援イベントを開催し、地元住民の連帯意識の醸成や相互交流を進め、他区へも波及させていく。		＜年度別の事業内容＞	
			(各年共通) ・ファイターズ区民応援デーの開催 ・コンサドーレ区民応援デーの開催 ・とよひらおもしろスノーパークの開催 ・健康フェアー豊平	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	(5月9日) ファイターズ区民応援デー 札幌ドーム、2,000名 (9月15日) 第1回コンサドーレ区民応援デー 札幌ドーム、1,000名(区内10校の中学生) (9月27日) 健康フェアー豊平 豊平区民センター、250名 (11月18日) 第2回コンサドーレ区民応援デー 札幌ドーム、1,000名(区内小中学校の親子) (2月3日) 第2回とよひらおもしろスノーパーク 月寒公園坂下球場、930名(小学生、親子)		(6月4日) ファイターズ区民応援デー 札幌ドーム、2,000名 (9月25日) 健康フェアー豊平、210名 豊平区民センター (5月～3月) 区民ウォーキング、450名 (2月8日) 第3回とよひらおもしろスノーパーク 月寒公園坂下球場、700名(小学生、親子、留学生)	
事業規模	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(決算)	
	(6月3日) ファイターズ区民応援デー 札幌ドーム、2,000名 (7月10日) ファイターズ東月寒地区連合町内会応援デー 札幌ドーム、1,000名 (7月4日) コンサドーレ区民応援デー 札幌ドーム、850名 (9月30日) 健康フェアー豊平、140名 豊平区民センター (5月～3月) 区民ウォーキング、470名 (2月7日) 第4回とよひらおもしろスノーパーク 月寒公園坂下球場、950名(小学生、親子)		(4月25日) コンサドーレ区民応援デー 札幌ドーム、900名 (6月26日) ファイターズ区民応援デー 札幌ドーム、2,000名 (8月6日、7日) ファイターズ東月寒地区連合町内会応援デー 札幌ドーム、1,000名 (9月18日、19日) ファイターズ福住地区連合町内会応援デー 札幌ドーム、600名 (8月21日) ファイターズ児童会館応援デー 札幌ドーム、350名 (10月3日) 健康フェアー豊平 豊平会館、250名 (5月～2月) 区民ウォーキング、253名 (2月6日) 第5回とよひらおもしろスノーパーク 月寒公園坂下球場、1,150名	
事業数等				

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	5-2-2		事業名	豊平スポーツ・健康づくり応援事業			
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)	
スポーツイベント等参加者数	700人	930人	700人	950人	1,150人	1,000人	
ファイターズ、コンサドーレ応援イベント参加者数	2,000人	4,000人	2,000人	3,850人	4,850人	5,000人	
【参考】健康づくりイベント参加数	600人	250人	660人	610人	503人	1,000人	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 「とよひらおもしろスノーパーク」の開催にあたり、交流イベントについては、昨年に引き続き、企画立案段階から、児童会館のコーディネートにより、地域の大学生を中心に事業内容を策定、運営したほか、とよひらスノーファイトについては、運営主体の豊平区体育指導委員会との連携を図りながら実施した。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力]北海道宅地建物取引業協会南支部 [人材協力](財)札幌市青少年女性活動協会(児童会館・豊平若者活動センター)、区体育指導委員会、区青少年育成委員会、北海学園大学、札幌大学、北星学園大学、(財)さっぽろ健康スポーツ財団、子ども雪合戦倶楽部 [その他の協力]さっぽろ健康スポーツ財団(競技用品)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり スノーパークの開催にあたっては、子ども達にもイベントを楽しんでいただくため、昨年に引き続き、企画段階から児童会館の館長にコーディネートをいただき、地域の大学生のアイデアを十分に取り入れ、かつ交流イベントを大学生に責任を持って運営させる方法で実施したほか、人気の当区のキャラクター「こりん、めーたん」、コンサドーレの「ドレーくん」にも参加していただき、イベントを盛り上げた。また、協力団体として、新たに豊平若者活動センターに加わっていただき、イベント運営の支援をいただいた。</p>							
評価(成果)			課題				
<p>ファイターズ区民応援デーについては、数多くの区民が一丸となって、選手達に熱い声援をおくり応援を盛り上げるなど、区民相互の交流促進と連帯意識の醸成を図ることができた。また、今年は地区連合町内会による単独応援デーの開催が、2地区に拡大し、更には、豊平区内の子ども達によるファイターズ応援の盛り上げを図るため、区と児童会館が連携して、応援デーを実施し、地域等が主体性を発揮した応援スタイルを実践することができた。</p> <p>コンサドーレ区民応援デーについては、ファイターズ同様、「広報さっぽろ」を活用しての応募により、区民に対して積極的な参加を促した。</p> <p>冬の屋外スポーツ交流を主要な目的として開催した「とよひらおもしろスノーパーク」は、昨年に引き続き、企画段階から、児童会館の館長のコーディネートをいただき、地域の大学生を中心にして運営することで、まちづくり参加の取組みとして一定の成果をあげることができた。また、新たに豊平若者活動センターの協力を得ることができ、まちづくりに対する支援層の拡大を図ることもできた。</p> <p>健康づくりについては、「豊平歩っ歩(ぼっぼ)の会」の活動として、月1回のウォーキングが定着し、個人やグループで参加、交流する場となった。また、健康フェアに関しては、初めて地域に出向いて実施したが、大変な盛り上がりがあった。</p>			<p>スポーツの応援観戦イベントについては、地域住民や児童会館が主体的にファイターズの応援デーを企画することができ、今後も、スポーツ環境を活用したまちづくりを進めていくとともに、これからも地域が自主的にイベントを企画実現できるよう、支援していく必要がある。</p> <p>また、健康づくり事業を通じた交流促進については、地域で健康づくりに自主的に取り組んでいるグループ同士や関係機関との情報交換を通じた活動の連携と推進、区民の健康づくり事業への主体的な参加と行政との協働に基づく事業展開が求められている。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>冬の交流イベント(現「とよひらおもしろスノーパーク」)については、一定の役割を果たしたことから、会場の見直しや、大学生等を含めた関係機関との連携について、検証していく必要がある。</p> <p>また、引き続き、ファイターズやコンサドーレの区民応援を通して、区民相互の交流促進と連帯意識の醸成に努めていくとともに、イベント開催に併せて、区民の健康づくりへの啓発や、子育てを支援するためのコーナーを設けるなど、地域の方々と協働で、スポーツを通して、明るく、元気で健康的なまちづくりを進めていく。</p>							

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		5-2-2			事業名	豊平スポーツ・健康づくり応援事業				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	3,500	3,500	3,500	3,500	14,000				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0	0	0				
	市の債	0	0	0	0	0				
	その他の	0	0	0	0	0				
一般財源	3,500	3,500	3,500	3,500	14,000					
予算	事業費	3,058	3,352	4,200	3,112	13,722				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0	0	0				
	市の債	0	0	0	0	0				
	その他の	0	0	0	0	0				
一般財源	3,058	3,352	4,200	3,112	13,722					
実績	事業費	3,175	3,655	4,399	3,503	14,732				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0	0	0				
	市の債	0	0	0	0	0				
	その他の	0	0	0	0	0				
一般財源	3,175	3,655	4,399	3,503	14,732					
事業費の進捗率		(H19実績事業費+H20実績事業費+H21予算事業費) / (計画事業費)					102.4%			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
《全体》										
[19年度]ほぼ計画通りに実施										
[20年度]ほぼ計画通りに実施										
[21年度]ほぼ計画通りに実施										
[22年度]ほぼ計画通りに実施										